

| 令和4年3月15日(火) 岐阜県発表資料 | | | |
|----------------------|--------------|----------------|-------------------------------------|
| 担当課 | 担当 | 担当者 | 電話番号 |
| 岐阜県美術館 | 学芸係 教育普及係 | 西山 恒彦 橋本 浩典 | 直通 058-271-1314 FAX 058-271-1315 |

「特集：ラリッサ・サンスール」展を開催します

県美術館ではこのたび、「特集：ラリッサ・サンスール」展を開催します。

2019年のベネチア・ビエンナーレで、パートナーの出身国であるデンマーク館代表を務めたパレスチナ人アーティストのラリッサ・サンスール。当館で2017年に開催した「ディアスポラ・ナウ！」展をきっかけに収集した作品を中心に、彼女の映像作品を紹介します。

- 1 会期 令和4年4月19日(火)～6月26日(日)
10:00～18:00
※夜間開館：企画展開催期間中の毎月第3金曜日は、20:00まで開館
※展示室の入場は、閉館の30分前まで
※休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

- 2 場所 岐阜県美術館(岐阜市宇佐4-1-22)

- 3 観覧料 一般：340(280)円
大学生：220(160)円
高校生以下無料、()内は20名以上の団体料金
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、
難病に関する医療費受給者証の交付を受けている方
およびその付き添いの方(1名まで)は無料

- 4 主催 岐阜県美術館



ラリッサ・サンスール&セレン・リンド《未来では、彼らは最高級磁器で食事していたことになる》より
2016年 岐阜県美術館蔵

■ ラリッサ・サンスール

1973年、東エルサレムに生まれる。
コペンハーゲン、ニューヨーク、ロンドンで美術を学ぶ。映像、写真、本、インターネット等を用い、ポピュラーな映画やSF等の要素を参照しながら、パレスチナ問題をモチーフにした作品をいくつも発表してきた。
2009年に第11回イスタンブール・ビエンナーレ、2010年にはリバプール・ビエンナーレに参加、ほかにも多数のグループ展に参加している。また、ニューヨーク、コペンハーゲン、ストックホルム、イスタンブール、パリなどで精力的に個展を開催。
2016年、ロンドンのギャラリー、モザイク・ルームでの個展は、『アート・レビュー』誌でその夏にあった「最も見るべき展覧会のひとつ」と評された。
2017年、岐阜県美術館で「ディアスポラ・ナウ！」展に参加。
2018年、イギリスSF協会「Vector」で当館収蔵作品となった《未来では、彼らは最高級磁器で食事していたことになる》が「BEST of 2017」に選ばれる。
2019年、第58回ベネチア・ビエンナーレの「Heirloom」展で公開した《In Vitro》では、奪われた過去の伝承の意義について論じる舞台に、マスクなしには外出できない世界を予見的に描いていた。

ご来館のみなさまへお願い

岐阜県美術館では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、安全に配慮した取り組みを行なっています。

- ・発熱、咳などの風邪症状がある方、体調がすぐれない方は来館をお控えください。
- ・入館にあたり、マスクの持参・着用、こまめな手洗い・消毒、来館者同士の距離の確保にご協力ください。

■ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、予定を変更する場合があります。

事前に岐阜県美術館 Web サイトでご確認ください。

※問い合わせは、岐阜県美術館（058-271-1313）をお願いします。

※その他の催し物については、岐阜県美術館 Web サイトをご確認ください。

(<https://kenbi.pref.gifu.lg.jp>)

岐阜県美術館

検索

